

# 議事概要（石川中央医療圏①）

## 【紹介受診重点医療機関について】

・紹介受診重点医療機関について「意向あり」とした11医療機関については、紹介受診重点医療機関となることを確認した。

（紹介受診重点医療機関）

金沢市立病院、金沢赤十字病院、浅ノ川総合病院、金沢大学付属病院、金沢医療センター、心臓血管センター金沢循環器病院、石川県立中央病院、公立松任石川中央病院、石川県済生会金沢病院、金沢医科大学病院、恵寿金沢病院

・紹介受診重点医療機関について「基準を満たす」が「意向なし」と回答した3医療機関（北陸病院、JCHO金沢病院、金沢脳神経外科病院）については、2回目の協議に改めて意向を確認した上で、紹介受診重点医療機関にならないことを確認した。

## 【在宅医療・介護連携について】

- ・一部の地域において「訪問診療が必要な患者に対応できていない状況にある」との意見があった。
- ・在宅医療を必要としている人がどれくらいいるのか、具体的な人数を分析して欲しいとの意見があった。
- ・介護施設でのACP※に関する対応マニュアルの策定率がまだ低いので、普及を進めたいとの意見があった。

※アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning) の略であり、患者の人生の最終段階における医療・療養について話し合い、共有する場

## 【個別医療機関の医療機能の見直し・連携協議について】

・公立松任石川中央病院から増改築（R10.3完成予定）にあわせて、白山石川医療企業団内の2病院の病床機能を再編し、石川中央医療圏南部における医療提供体制の強化を図りたい旨の申出があり、協議を行ったところ委員から異論はなく了承された。

（再編内容）

- ・公立つるぎ病院の急性期病床45床を公立松任石川中央病院に集約し、救急医療体制を強化
- ・公立つるぎ病院は、訪問診療の強化等により、引き続き白山ろく地域の医療提供を担う

## 【地域医療構想の進め方について】

・地域医療構想上の必要病床数と病床機能報告の病床数を比較し、高度急性期、急性期の病床が過剰とされている状況について、その差異は病床機能報告のデータの特性だけで説明できるのかとの質問があり、県からはデータ分析をした上で結果を報告したい旨、回答した。